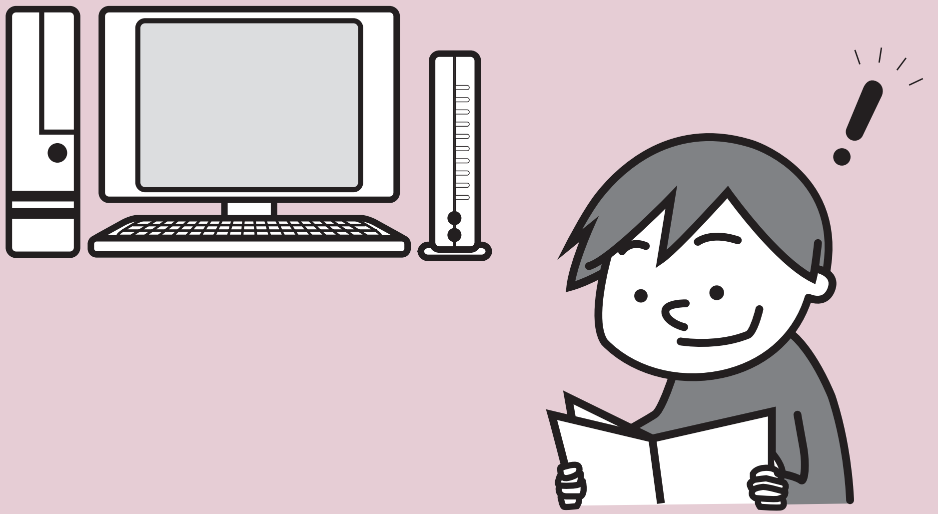
●本冊子の一部または全部を無断複写・転載することを禁じます。
●本冊子の他社製品などに対する記述は、参考または情報を提供する目的で書かれたものであり、
記載商品の使用を強制あるいは保証するものではありません。
●記載内容は2011年2月15日現在のものです。
●サービス内容および提供条件は、改善等のため予告なく変更することがあります。
●Windows は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
●Mac OSは 米国Apple Computer Inc.の商標または登録商標です。
●「ニンテンドーDS」は任天堂株式会社の登録商標または商標です。
●その他、記載されている製品名,会社名およびサービス名は、各社の登録商標および商標です。
●本冊子の本文中では、™、®マークは明記しておりません。

保存版

HBWLv4011102

光BBユニット 無線LAN セットアップガイド



CONTENTS

準備　設定を始める前に確認しましょう ………………………… P3 ～
設定　パソコンのセキュリティ設定を行いましょう ………………… P8 ～
無線LANに関する詳細設定 …………………………………… P15～
トラブル解決Q＆A ……………………………………………… P43～

光BBユニット　無線LANパック　セットアップガイド

ご利用開始までの流れ

INDEX

準備　設定を始める前に確認しましょう

無線LANのご使用にあたり、お客様にご注意いただくことを記載しておりますので、よくお読みください。

●無線LANのご使用にあたって、安全のために特に注意してください …… P3
●SSIDとPSK-AESを確認しましょう …… P5
●お客様にご用意いただくもの …… P6

設定　パソコンのセキュリティ設定を行いましょう

パソコンのセキュリティ設定を行います。
※パソコン用無線LANアダプタをご利用の場合は、あわせてドライバのインストールを行います。

●パソコンのセキュリティ設定を行いましょう …… P8
●無線LAN機能を内蔵したWindows 7 搭載パソコンの場合 …… P9
●無線LAN機能を内蔵したWindows Vista 搭載パソコンの場合 …… P11
●無線LAN機能を内蔵したWindows XP(SP3) 搭載パソコンの場合 …… P13

無線LANの基本的な設定は以上で終了です。

詳細設定　無線LANに関する詳細設定

お客様ご自身で詳細な設定を行う場合は、
該当する下記のページをご覧ください。

●「セットアップメニュー」画面にログインする …… P15
●無線LAN設定内容一覧／設定情報一覧 …… P16
●ログインパスワードを変更する …… P17
●SSIDを変更する …… P18
●無線チャンネルを変更する …… P19
●無線LAN通信規格の設定を変更する …… P20
●周波数帯域幅を変更する …… P21
●無線LANを暗号化する(WEPキーを使用する場合) …… P23
●無線LANを暗号化する(WPA-PSKを使用する場合) …… P25
●無線LAN端末どうしの通信を制限する …… P27
●SSIDの隠蔽を設定する …… P28
●使用者を制限する(MACアドレスフィルタリングの設定) …… P29
●有線LANと無線LANの通信を制限する …… P31
●無線LANの有効･無効機能 …… P32
●マルチSSIDを設定する …… P33
●機能ボタンでWPS機能を利用する …… P35
●ソフトウェアボタン(プッシュボタン)でWPS機能を利用する …… P37
●PINコード登録でWPS機能を利用する …… P39
●WPS機能を無効にする …… P41
●WPS機能のPINコードを編集する …… P42

トラブル解決Q&A　困ったときには…

何らかの問題が発生したら、
まずは「トラブル解決Q&A」をご覧ください。

●目次 …… P43
●無線LANに関するQ&A …… P44
●その他のQ&A …… P49

無線LANのご使用にあたって、安全のために特に注意してください

無線LA Nを 正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、必ずお読みになり、内容をよく理解されたうえでお使いください。

使用している警告表示の意味

⚠ 警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています

使用している絵記号の意味

△記号は注意(危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

●記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な内容が描かれています。

⚠ 警告	
分解禁止	本製品の分解や改造を自分でしないでください。 火災や感電のおそれがあります。
強制	本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。 そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
強制	煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
水辺での使用禁止	風呂場などの水分・湿気の多い場所で、本製品を使用しないでください。 火災や感電のおそれがあります。
強制	本製品を取り付け、使用する際は、必ず電話機メーカーおよびパソコンメーカーならびに周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。
強制	心臓ペースメーカーをご使用の方の近くや医療機器の周囲で本製品を使用しないでください。

⚠ 注意	
強制	電源コードがコンセントに接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。感電の原因となります。
強制	静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。人体などの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失させるおそれがあります。
強制	本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

⚠ 電波に関する注意

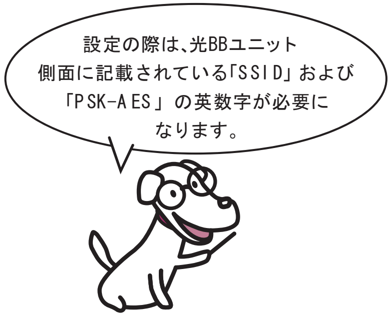
お客様や他の人々への危害、および財産への損害を未然に防止するために必ずお読みになり、内容をよく理解されたうえでご利用ください。

●本製品の使用周波数帯では、電子レンジや科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉を回避してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときはご利用中のインターネットサービスプロバイダーまでお電話ください。

●心臓ペースメーカーをご使用の方の近くや医療機器の周囲で本製品を使用しないでください。

SSIDとPSK-AESを確認しましょう

無線LANをご利用いただくための、パソコンのセキュリティ設定を行います。
お使いのパソコンや、ご用意いただいたパソコン用無線LANアダプタの種類によって手順が異なりますので、ご確認のうえ、設定を行ってください。



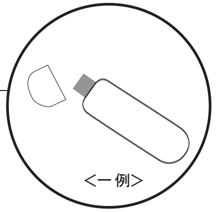
お客様にご用意いただくもの

近年、各パソコンメーカーから、無線LAN機能（無線LANアダプタ）を内蔵したパソコンが多数販売されています。お客様がお使いのパソコンが無線LAN機能を内蔵したものであれば、あらためてご用意いただくものはありませんが、無線LAN機能を内蔵していないパソコンをお使いの場合、パソコン用無線LANアダプタを、別途ご用意いただく必要があります。下記をご参照のうえ、ご用意をお願いいたします。

「パソコン用無線LANアダプタ」をご利用の場合

ご用意いただく際は、無線LAN規格がIEEE802.11b/g/n準拠の「パソコン用無線LANアダプタ」を推奨しております。

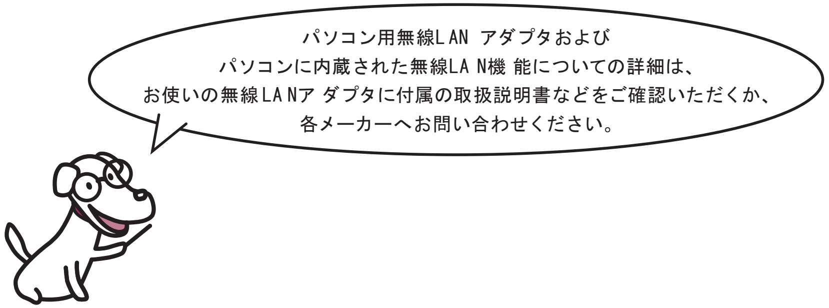
※パソコン用無線LANアダプタは、電器店などで販売されています。



ヒント　無線LAN通信規格について

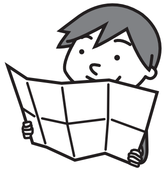
IEEE802.11n（規格値300Mbps＊）で通信を行うには、IEEE802.11nに対応したパソコン用無線LANアダプタが必要です。ただし、IEEE802.11g規格（規格値54Mbps）、IEEE802.11b規格（規格値11Mbps）はIEEE802.11n規格と互換性があるため、IEEE802.11g規格、IEEE802.11b規格に対応したパソコン用無線LANアダプタでもご利用は可能です。その場合の通信は、IEEE802.11gの場合IEEE802.11規格（規格値54Mbps）、IEEE802.11bの場合IEEE802.11b（規格値11Mbps）での通信となります。
＊暗号化方式にWEP、もしくはPSK:TKIPを設定された場合の通信規格値は54Mbpsとなります。

※記載の数値は無線LANの通信部分（光BBユニットからパソコン等の通信端末までの区間）の技術規格上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。また、インターネット利用時の通信速度を示すものではありません。



パソコンのセキュリティ設定を行いましょう

パソコンのセキュリティ設定を行います。お使いのパソコンや、
ご用意いただいたパソコン用無線LANアダプタの種類によって
設定が異なりますので、下記をご確認のうえ、
設定を行ってください。



お使いのパソコンが無線LAN機能を内蔵している場合

パソコンの取扱説明書などをご参照いただき、設定してください。

Windows 7 / Windows Vista / Windows XPをご利用の場合は次のページで設定方法をご紹介しています。

パソコン用無線LANアダプタをご利用いただく場合

1 パソコンに、パソコン用無線LANアダプタのドライバをインストールします。

⚠ ドライバのインストール方法やパソコンへの取り付け方につきましては、無線LANアダプタに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 パソコンに、無線LANアダプタを取り付けます。※下記イラストは一例です。

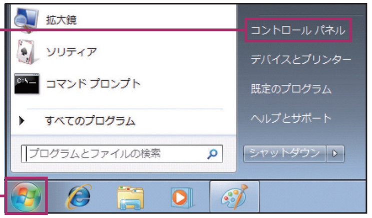
3 光BBユニット側面に記載されているSSID・PSK-AES（P5）を、無線LANアダプタにも設定します。

他の暗号化の種類を利用したり、
利用者の制限などの高度なセキュリティ設定を
行う場合は、「無線LANの詳細設定」
（P15〜）をご覧ください。

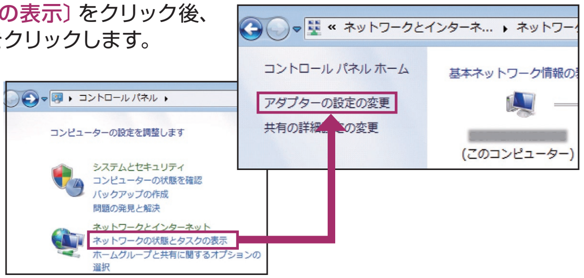
無線LAN機能を内蔵したWindows 7 搭載　パソコンの場合

ここでは、無線LAN機能を内蔵したWindows 7 でのセキュリティ設定手順をご説明します。設定がうまくいかない場合は、お使いのパソコンの取扱説明書や、メーカーのサポートページなどをご参照ください。

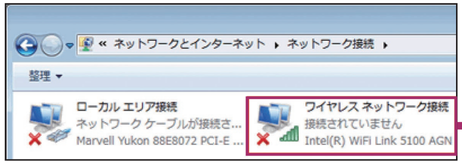
1 画面左下の（スタートボタン）をクリック後、〔コントロールパネル〕を選択します。



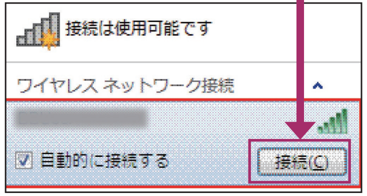
2 〔ネットワークの状態とタスクの表示〕をクリック後、〔アダプターの設定の変更〕をクリックします。



3 〔ワイヤレスネットワーク接続〕をダブルクリックします。



光BBユニット側面に記載されているSSID（12桁の英数字）と同様のSSIDを選択後、〔接続〕をクリックします。

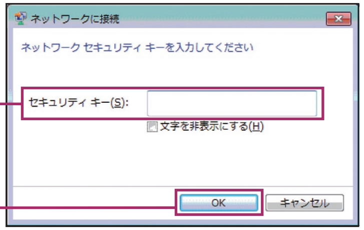


「SSID」名は複数表示される場合があります。光BBユニット側面に記載されているSSIDをご確認のうえ、ご選択ください。

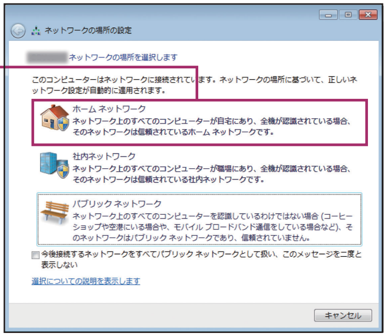
管理者権限を持つユーザアカウント以外では下記を設定いただけない場合があります。必ず管理者権限を持つユーザアカウントで設定を行ってください。

4 光BBユニット側面に記載されているPSK-AES（13桁の数字）を、〔セキュリティキー〕欄に入力します。

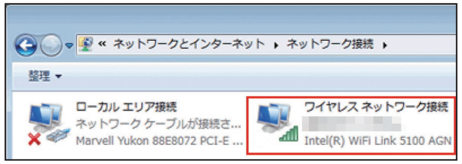
入力後、〔OK〕をクリックします。



5 「ネットワークの場所の設定」の画面が表示されたら、〔ホームネットワーク〕をクリックします。



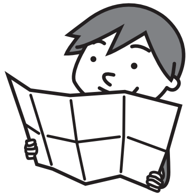
6 「ネットワーク接続」画面に戻ります。③で確認したSSID名が表示されていたら無線LANの設定は完了です。



以上でWindows 7 での パソコンのセキュリティ設定は完了です！

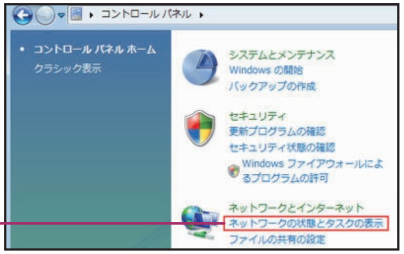
無線LAN機能を内蔵したWindows Vista搭載パソコンの場合

ここでは、無線LAN機能を内蔵したWindows Vistaでのセキュリティ設定手順をご説明します。設定がうまくいかない場合は、お使いのパソコンの取扱説明書や、メーカーのサポートページなどをご参照ください。

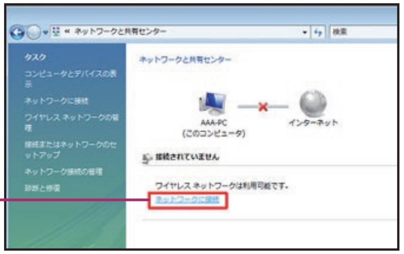


1 画面の左下にある[スタート]メニューをクリックし、[コントロールパネル]を選択します。

2 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。



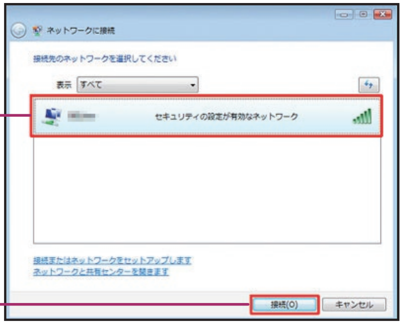
3 [ネットワークに接続]をクリックします。



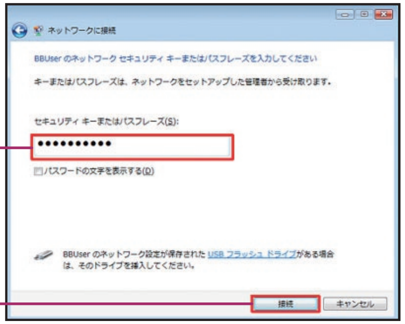
4 [接続先のネットワーク名(SSID)]が表示されます。

光BBユニット側面に記載されているSSID(12桁の英数字)と同様のSSIDを選択し、[接続]をクリックします。

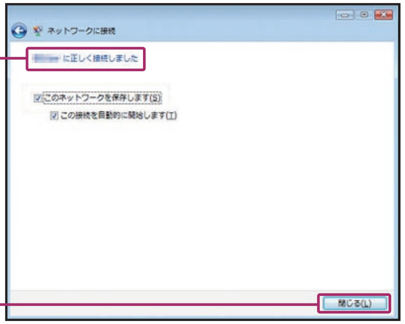
[接続先ネットワーク名(SSID)]は複数表示される場合がありますが、光BBユニット側面に記載の[接続先ネットワーク名(SSID)]をご確認のうえ、選択してください。



5 [セキュリティキーまたはパスフレーズ]欄に、光BBユニット側面に記載されているPSK-AES(13桁の数字)を入力し、[接続]をクリックします。

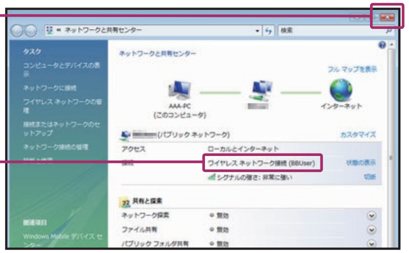


6 ④で選択した[接続先のネットワーク名(SSID)]が表示されていることを確認し、[閉じる]をクリックします。



7 接続状況が表示されます。

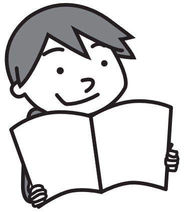
「ワイヤレスネットワークの接続」に[接続先のネットワーク名(SSID)]が表示されていることを確認してください。確認後、ウィンドウの右上の[×]ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます。



以上でWindows Vistaでのパソコンのセキュリティ設定は完了です!

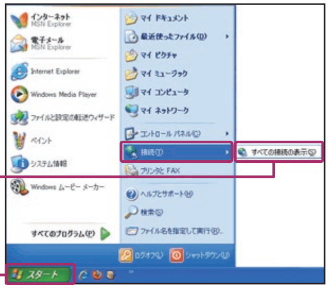
無線LAN機能を内蔵したWindows XP(SP3)搭載パソコンの場合

ここでは、無線LAN機能を内蔵したWindows XP(SP3)でのセキュリティ設定手順をご説明します。設定がうまくいかない場合は、お使いのパソコンの取扱説明書や、メーカーのサポートページなどをご参照ください。



1

画面の左下にある[スタート]ボタンをクリックし、[接続]→[すべての接続の表示]を選択します。



2

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

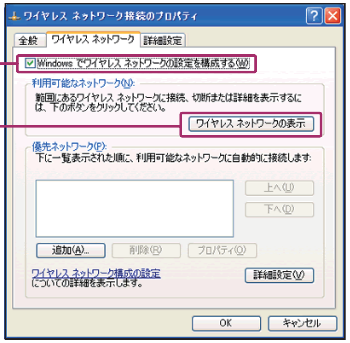
[ワイヤレス ネットワーク接続]を選択し、右クリックで表示されるメニューから[プロパティ]をクリックします。

3

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面で、[ワイヤレス ネットワーク]タブを選択します。

4

[Windowsでワイヤレス ネットワークの設定を構成する]をチェックします。
「利用可能なネットワーク」の欄の[ワイヤレスネットワークの表示]をクリックします。

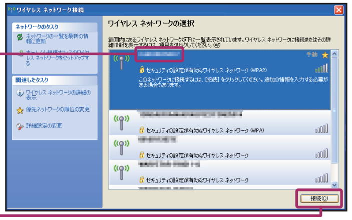


5

「ワイヤレス ネットワークの選択」画面が表示されます。

光BBユニット側面に記載されているSSID(12桁の英数字)と同様のSSIDを選択し、[接続]をクリックします。

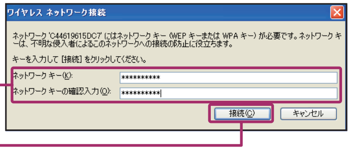
SSIDは複数表示される場合がありますが、光BBユニット側面に記載されているSSIDをご確認のうえ、選択してください。



6

ネットワークキーの入力を求める画面が表示されます。

[ネットワークキー]欄に光BBユニット側面に記載されているPSK-AES(13桁の数字)を入力し、[接続]をクリックします。

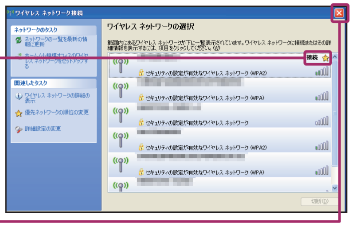


7

「ワイヤレスネットワークの接続」画面が表示されます。

❺で選択したSSIDの右上に「接続」と表示されていることを確認してください。

確認後、ウィンドウの右上の[×]ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます。



以上でWindows XP(SP3)でのパソコンのセキュリティ設定は完了です!

「セットアップメニュー」画面にログインする

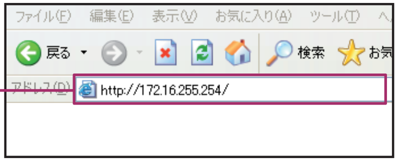
サービスをご利用いただくための各種設定は、「セットアップメニュー」画面からお手続きいただきます。ご利用の際には、次の手順で「セットアップメニュー」画面を表示してください。

ヒント 「セットアップメニュー」画面でのお手続きについて

暗号化方式を初期設定(AES)のままでご利用の場合は、無線LAN接続で「セットアップメニュー」画面へログインおよびお手続きいただくことが可能です。それ以外のお客様は、光BBユニットとパソコンをLANケーブルで接続してお手続きください。

1

Internet Explorerを起動します。
Internet Explorerの「アドレス」欄に、
http://172.16.255.254/
(またはhttp://192.168.3.1/のいずれか*)
を半角で入力し、キーボードの
[Enter]キーを押します。



*光BBユニットのIPアドレスの初期値です。お客様で変更された場合、値が変わります。
光BBユニットのIPアドレスは詳細設定一覧(P16)でご確認いただけます。

⚠ 「セキュリティ警告」画面が表示された場合は、[OK] をクリックしてください。

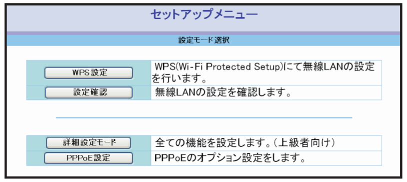
2

設定画面を表示させるための
「ユーザー名」と「パスワード名」を
入力する画面が表示されます。
ユーザー名 : user
パスワード : user
と入力し、[OK]をクリックします。

⚠ 「user」はすべて半角小文字で入力してください。

3

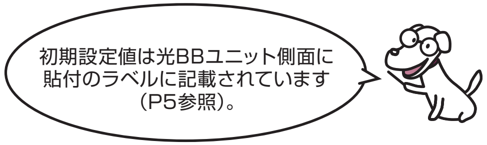
Internet Explorerに
「セットアップメニュー」画面が
表示されます。



無線LAN設定内容一覧／設定情報一覧

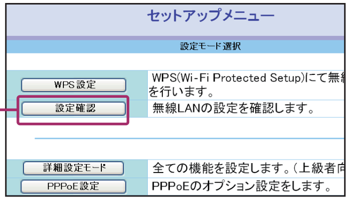
無線LAN設定内容一覧

無線LANで設定されている内容を
一覧表示させます。



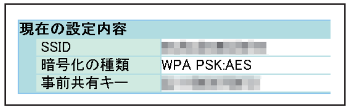
1

P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[設定確認]をクリックします。



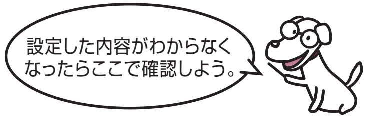
2

無線LANで設定されている内容が確認できます。



設定情報一覧

光BBユニットに設定されている内容を一覧表示させます。



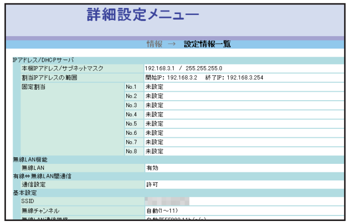
1

P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。

左側に表示されたメニューから[設定情報一覧]をクリックします。

2

光BBユニットに設定されている内容が確認できます。



「セットアップメニュー」画面にログインする　無線LAN設定内容一覧／設定情報一覧

詳細設定

ログインパスワードを変更する

「セットアップメニュー」画面にログインするための
パスワードを変更することができます。

1

P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。

左側に表示されたメニューから[ログインパスワード]をクリックします。

2

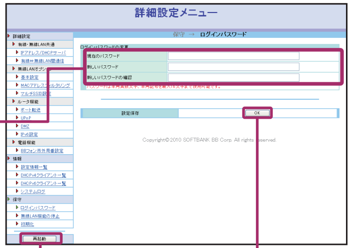
新しいパスワードを設定します。

・[現在のパスワード]：
現在のパスワードを入力します。
初期値は「user」(半角小文字)です。

・[新しいパスワード]：
変更したいパスワードを入力します。
※パスワードは半角英数文字、半角記号を最大16文字まで使用可能です。

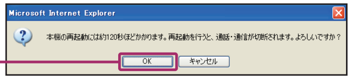
・[新しいパスワードの確認]：
確認のため、もう一度新しいパスワードを 入力します。

[OK]をクリック後、画面の案内に従って、左側に表示されたメニュー下の[再起動]をクリックします。



3

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、光BBユニットが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。



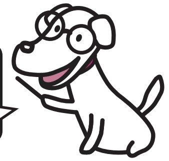
4

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上でログインパスワードの変更は完了です

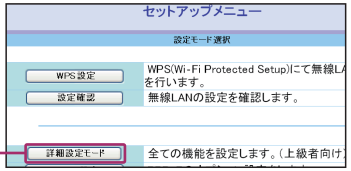
SSIDを変更する

光BBユニット側面に貼付のラベルに記載されている
「SSID」(初期値)を、お客様固有の値にご変更いただけます。



1

P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。



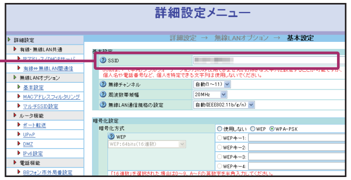
2

表示された[SSID]欄を確認します。

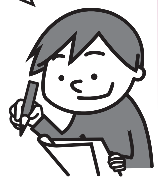
SSIDの初期値は、光BBユニット側面に貼付のラベルに記載されている英数字(12桁)となります。

[SSID]欄の初期値を消して、新たにSSIDを設定します。
任意文字を入力してください。

入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子巻末の「登録情報一覧表」に記入をお願いいたします。



忘れずにメモしておこう!
・SSID

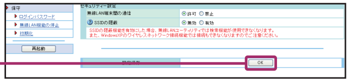


無線LANを安全にご利用いただくため、必ず下記の点にご注意のうえ、設定をお願いいたします。
・お客様のお名前、ご住所、生年月日、年齢、性別、電話番号など、個人を特定できる情報は、絶対に設定しないでください。
・SSIDは半角32文字、全角16文字以下で設定してください。

3

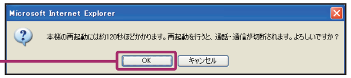
画面下の[OK]をクリックします。

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、画面の案内に従って、左側に表示されたメニュー下の[再起動]をクリックします。



4

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、光BBユニットが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。



5

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

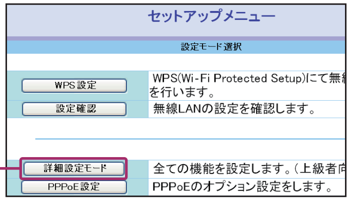
以上でSSIDの変更は完了です

無線チャンネルを変更する

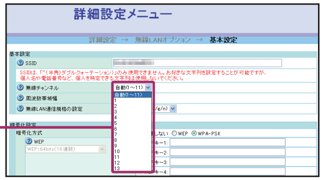
無線LANの電波出力チャンネルを設定できます。初期値(自動)のままで自動的に最適なチャンネルを選択しますが、チャンネルを固定にすることもできます。

※パソコン用無線LANアダプタ側での設定は不要です。
※特に問題がない限り、初期値(自動)のままでご利用ください。

1 P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。



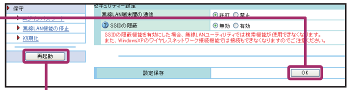
2 表示された「基本設定」画面の[無線チャンネル]欄の[▼]をクリックして、チャンネルを選択します。



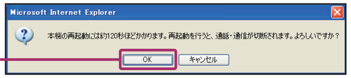
「12」または「13」を選択した場合、お使いのパソコン側の無線LANアダプタによっては、通信できない場合があります。「1」～「11」の数字を選択されることを推奨します。
※お使いのパソコン側の無線LANアダプタで「12」または「13」の数字が利用可能かどうかは、無線LANアダプタメーカーにお問い合わせください。

3 画面下の[OK]をクリックします。

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、画面の案内に従って、左側に表示されたメニュー下の[再起動]をクリックします。



4 再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、光BBユニットが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。

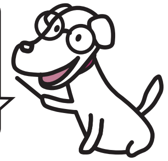


5 「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で無線チャンネルの変更は完了です

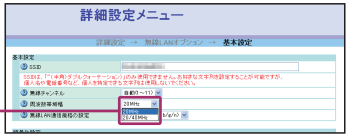
無線LAN通信規格の設定を変更する

光BBユニットでご利用いただける無線LANの通信規格はIEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11nの3種です。
初期状態は全ての規格を混在させて使用することもできますが、いずれかに固定させたい場合は下記手順にて設定してください。



1 P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。

2 表示された「基本設定」画面の[無線LAN通信規格の設定]欄の[▼]をクリックして、どれか1つを選択します。



ヒント

「自動(IEEE802.11b/g/n)」を選択
パソコン側の無線LANアダプタの通信規格が、IEEE802.11b準拠／IEEE802.11g準拠／IEEE802.11n準拠の、いずれの場合でも通信が可能です。通常はこのままでご利用いただけます。

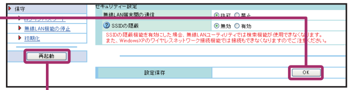
「IEEE802.11b固定」を選択
IEEE802.11bでの通信となります。

「IEEE802.11g固定」を選択
IEEE802.11gでの通信となります。IEEE802.11b準拠のパソコン用無線LANアダプタはご使用いただけません。

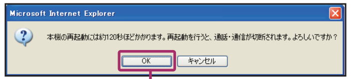
「IEEE802.11n固定」を選択
IEEE802.11nでの通信となります。IEEE802.11b準拠のパソコン用無線LANアダプタ、IEEE802.11g準拠のパソコン用無線LANアダプタはご使用いただけません。

3 画面下の[OK]をクリックします。

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、画面の案内に従って、左側に表示されたメニュー下の[再起動]をクリックします。



4 再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、光BBユニットが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。

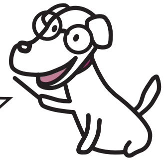


5 「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で無線ＬＡＮ通信規格の設定の変更は完了です

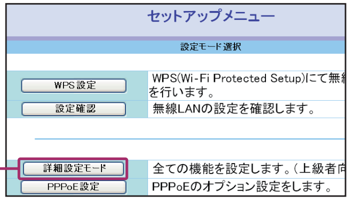
周波数帯域幅を変更する

無線チャンネル(P19)で「自動」を選択した際、
IEEE802.11nがご利用可能である場合のみ選択可能となります。
お客様の接続環境によっては「20/40MHz自動」を選択することで、
より高速な無線LAN通信が利用可能となります。



1

P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。

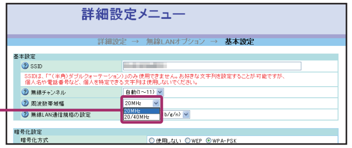


▼

2

表示された「基本設定」画面の「周波数帯域幅」欄の[▼]をクリックして、選択します。

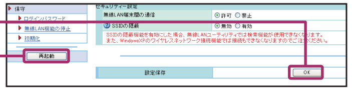
通信規格の設定で、IEEE802.11n固定およびIEEE802.11b/g/nの場合のみ、選択可能です。



▼

3

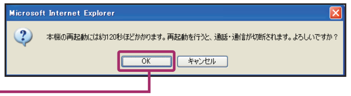
[OK]をクリック後、画面の案内に従って、左側に表示されたメニュー下の[再起動]をクリックします。



▼

4

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、光BBユニットが再起動します。
しばらくそのままでお待ちください。



▼

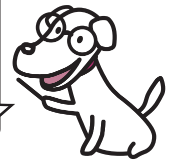
5

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で周波数帯域幅の変更は完了です

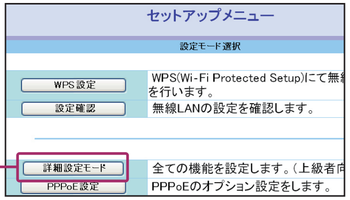
無線LANを暗号化する(WEPキーを利用する場合)

光BBユニットの初期設定は、AESに対応しています。
お使いのパソコン用無線LANアダプタや、その他ご利用されたいサービスが
AESに対応してない場合は、WEPキーをご利用ください。
※問題がない限りは初期値(AES)のままご利用ください。



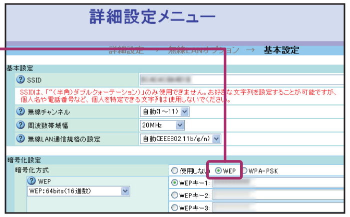
1

P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。



2

表示された「基本設定」画面の「暗号化方式」欄で、[WEP]を選択します。

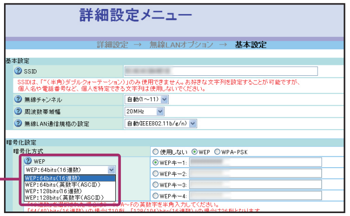


3

「WEP」欄の[▼]をクリックして、暗号化の種類を選択します。

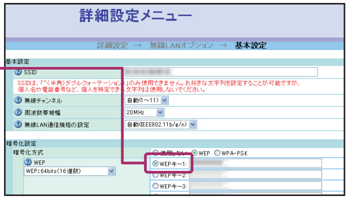
ヒント

「16進数」や「英数字」など、4通りの設定方法よりご選択ください。



4

「WEPキー1」~「WEPキー4」からキーを選択します。
通常は、「WEPキー1」をご使用ください。



5

「WEPキー」の入力欄に、❸で選択した暗号化の種類に対応したWEPキーを、全て半角で設定します。
入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子巻末の「登録情報一覧表」に記入をお願いいたします。

・お客様のお名前、ご住所、生年月日、年齢、性別、電話番号など、個人を特定できる情報は、絶対に設定しないでください。
・パソコン用無線 LAN アダプタでも同じ WEP キーの設定が必要です(P8 参照)。

忘れずにメモしておこう!
・暗号化の種類
・WEPキー

ヒント

WEPキーの設定方法

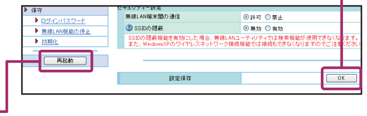
①「英数字(ASCⅡ)」の場合
「0」~「9」までの数字と、「a」~「z」、「A」~「Z」の半角大小文字を組み合わせて、5文字または13文字で設定してください。
5文字の例) 01abA, 12345, abcde, VWXYZ など
13文字の例) 0123abcdeABCD, 0123456789012, abcdefghijklm など

②「16進数」の場合
「0」~「9」までの数字と、「A」~「F」までの半角大文字を組み合わせて、10文字または26文字で設定してください。
10文字の例) 0123ABCDEF, 0123456789, ABCDEFABCD など
26文字の例) 0123456789ABCDEF0123456789 など

6

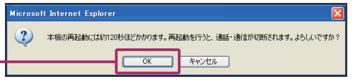
画面下の[OK]をクリックします。

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、画面の案内に従って、左側に表示されたメニュー下の[再起動]をクリックします。



7

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、光BBユニットが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。



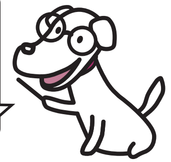
8

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上でWEPキーを利用した暗号化の設定は完了です

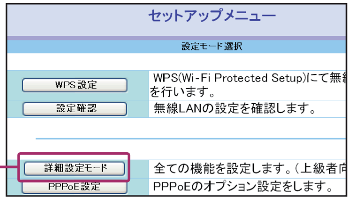
無線LANを暗号化する（WPA-PSKを利用する場合）

WPA-PSKを利用した暗号化の設定を行うためには、パソコン側の無線LANアダプタも
「PSK:TKIP」または「PSK:AES」に対応している必要があります。
お使いの無線LANアダプタが対応しているかどうかは、無線LANアダプタに
付属の取扱説明書をご確認いただくか、メーカーに問い合わせください。
※SSID1のみ有効です。



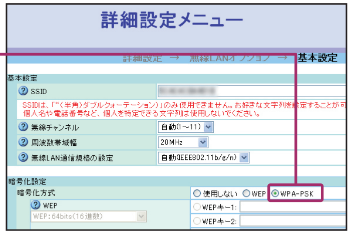
1

P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。



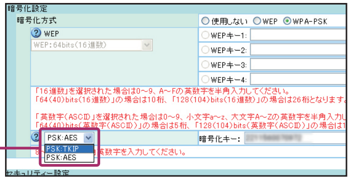
2

表示された「基本設定」画面の「暗号化方式」欄で、[WPA-PSK]を選択します。



3

[PSK:TKIP]もしくは[PSK:AES]を選択します。



ご利用のパソコン側の無線 LAN アダプタで設定可能なものを選択してください。

ヒント

TKIPとは

「Temporal Key Integrity Protocol」の略で、WEPを拡張した技術です。一定量のデータを転送するごとに暗号化キーを更新し、従来のWEPより安全な通信が可能です。

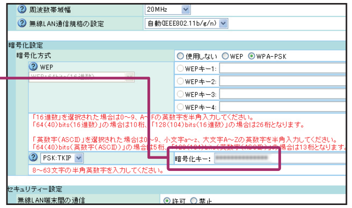
AESとは

「Advanced Encryption Standard」の略で、WEPに代わる暗号化技術です。WEPはもちろん、TKIPよりもさらに強固な暗号化方式です。光BBユニットの初期設定はAESに対応しています。

※光BBユニットでは、WPAおよびWPA2のミックスモードに対応しているため、無線LANクライアント側でWPAおよびWPA2のどちらをご選択いただいても、接続が可能です。

4

「暗号化キー」欄に暗号化キーを設定します。
暗号化キーには、8～63文字の半角英数字を入力してください。



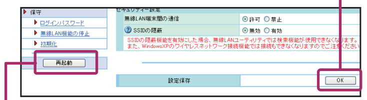
入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子巻末の「登録情報一覧表」に記入をお願いいたします。

忘れずにメモしておこう！
・PSK:
・暗号化キー

・お客様のお名前、ご住所、生年月日、年齢、性別、電話番号など、個人を特定できる情報は、絶対に設定しないでください。
・パソコン用無線 LAN アダプタでも同じ暗号化キーの設定が必要です（P8参照）

5

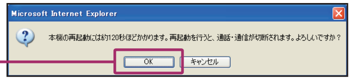
画面下の[OK]をクリックします。



「設定内容を登録しました。」と表示されたら、画面の案内に従って、左側に表示されたメニュー下の[再起動]をクリックします。

6

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、光BBユニットが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。



7

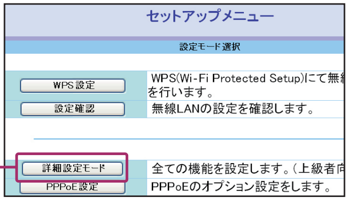
[セットアップメニュー]画面に戻ります。

以上でWPA-PSKを利用した暗号化の設定は完了です

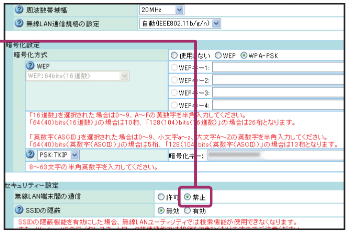
無線LAN端末どうしの通信を制限する

光BBユニットと複数台のパソコンを無線LANで接続する場合、
パソコン間の通信を禁止できます。
※SSID1のみ有効です。

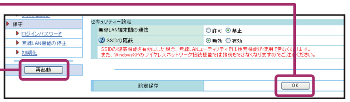
1 P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。



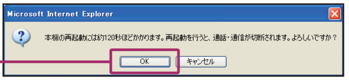
2 表示された「基本設定」画面の「無線LAN端末間の通信」欄で[禁止]をクリックします。



3 画面下の[OK]をクリックします。
「設定内容を登録しました。」と表示されたら、画面の案内に従って、左側に表示されたメニュー下の[再起動]をクリックします。



4 再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、光BBユニットが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。



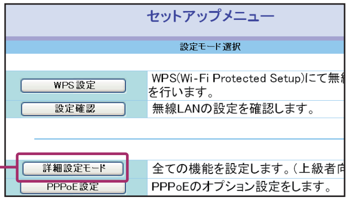
5 「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で無線LAN端末どうしの通信の制限は完了です

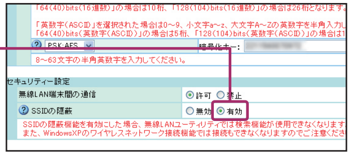
SSIDの隠蔽を設定する

SSIDを周囲に発信する機能を止め、パソコン側の検索機能などで
無線LANのアクセスポイントを検出できないようにします。

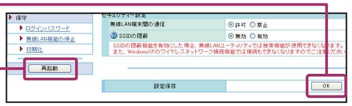
1 P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。



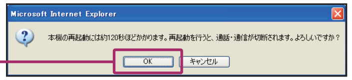
2 表示された「基本設定」画面の「SSIDの隠蔽」欄で、[有効]をクリックします。



3 画面下の[OK]をクリックします。
「設定内容を登録しました。」と表示されたら、画面の案内に従って、左側に表示されたメニュー下の[再起動]をクリックします。



4 再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、光BBユニットが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。



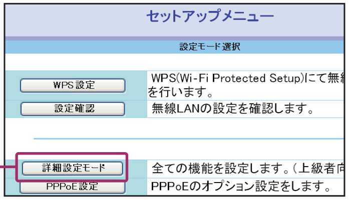
5 「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上でSSIDを隠蔽する設定は完了です

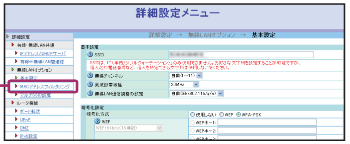
使用者を制限する（MACアドレスフィルタリングの設定）

光BBユニットにパソコン側で使用される無線LANアダプタのMACアドレスを登録し、登録されていない無線LANアダプタからはネットワークに接続できないように設定します。
最大8台の登録が可能です。
※SSID1、SSID2で共通設定となります。

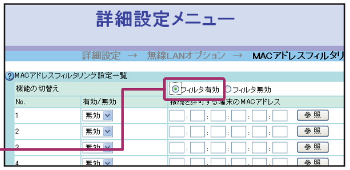
1 P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。



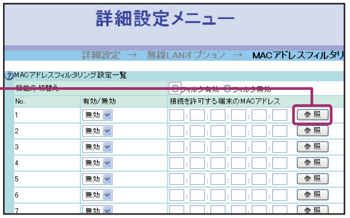
2 左側に表示されたメニューから[MACアドレスフィルタリング]をクリックします。



3 「MACアドレスフィルタリング設定一覧」画面が表示されます。
「機能の切替え」欄で[フィルタ有効]をクリックします。



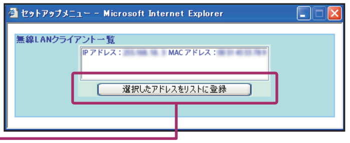
4 「接続を許可する端末のMACアドレス」欄の[参照]をクリックします。



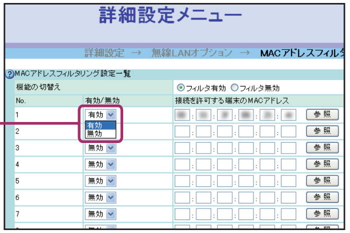
[参照]ボタンが表示されない場合

パソコンと光BBユニットが無線LAN接続されていない場合や、複数の無線LANアダプタを設定する場合には、直接MACアドレスを入力しなければならない場合があります。その際には、「接続を許可する端末のMACアドレス」欄に、ご利用の無線LANアダプタのMACアドレスを入力してください。その後、手順6へ進みます。

5 「無線LANクライアント一覧」画面が表示されます。
表示されたクライアントから接続を許可したい無線LANアダプタを選択して、[選択したアドレスをリストに登録]をクリックします。

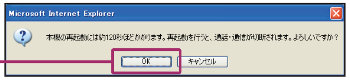


6 登録したMACアドレスが「接続を許可する端末のMACアドレス」の一覧に追加されます。
登録したMACアドレスの「有効／無効」の[▼]をクリックして[有効]を選択します。



7 MACアドレスをすべて設定したら、[OK]をクリックします。
「設定内容を登録しました。」と表示されたら、画面の案内に従って、左側に表示されたメニュー下の[再起動]をクリックします。

8 再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、光BBユニットが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。

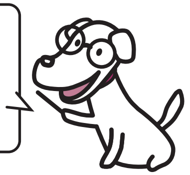


9 「セットアップメニュー」画面に戻ります。

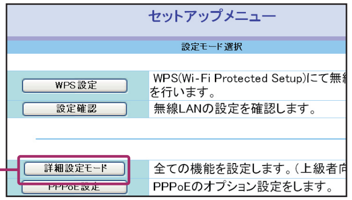
以上で使用者の制限の設定は完了です

有線LANと無線LANの通信を制限する

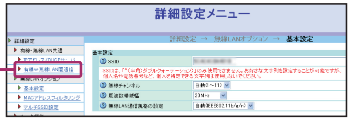
光BBユニットに複数台のパソコンを有線LAN／無線LANそれぞれで
接続している場合、パソコン間の通信を禁止することができます。
※SSID1のみ設定可能です。SSID2ではご利用いただけません。



1 P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。

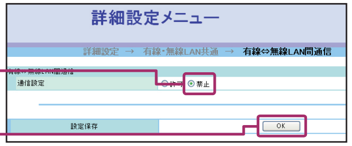


2 左側に表示されたメニューから
[有線⇔無線LAN間通信]をクリックします。



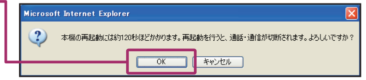
3 「有線⇔無線LAN間通信」画面が表示されます。
「有線⇔無線LAN間通信」欄で[禁止]をクリックします。

[OK]をクリックします。



4 「設定内容を登録しました。」と表示されたら、画面の案内に従って、左側に表示されたメニュー下の[再起動]をクリックします。

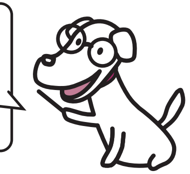
5 再起動状態を確認する画面が表示される場合は、
[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、光BBユニットが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。
「セットアップメニュー」画面に戻ります。



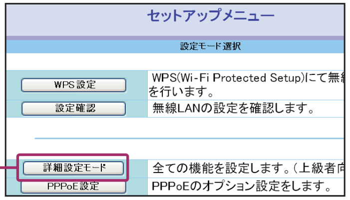
以上で有線LANと無線LANの通信の制限は完了です

無線LANの有効・無効機能

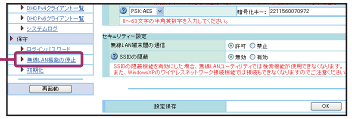
光BBユニットの無線LAN機能を、有効および無効に設定することができます。
光BBユニット前面パネルの「機能」ボタンを5秒以上押すことで、
無効および有効を切り替えることも可能です。
※無線LANの無効時に「無線LAN」ランプは消灯します。※SSID1、SSID2で共通設定となります。



1 P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。

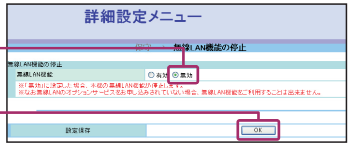


2 左側に表示されたメニューから
[無線LAN機能の停止]をクリックします。



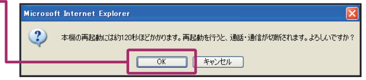
3 「無線LAN機能の停止」画面が表示されます。
「無線LAN機能」欄で[無効]をクリックします。

[OK]をクリックします。



4 「設定内容を登録しました。」と表示されたら、画面の案内に従って、左側に表示されたメニュー下の[再起動]をクリックします。

5 再起動状態を確認する画面が表示される場合は、
[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、光BBユニットが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。
「セットアップメニュー」画面に戻ります。



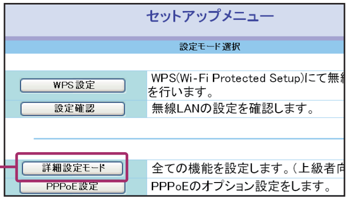
以上で無線LANの有効・無効の設定は完了です

マルチSSIDを設定する

光BBユニットでは、2つの無線LAN（SSID／SSID2）を利用することができます。SSID2をご利用の際には、下記の手順で設定を行ってください。

⚠ SSID2 では下記項目をご利用いただけませんので、ご注意ください。
・無線 LAN 間通信（SSID1 との通信および SSID2 間の通信）
・無線 LAN⇔有線 LAN 間の通信
・WPA-PSK を利用した暗号化（WEP キーによる暗号化のみご利用可能）
・WPS による設定

1 P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード]をクリックします。

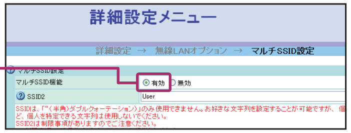


▼

2 左側に表示されたメニューから[マルチSSID設定]をクリックします。

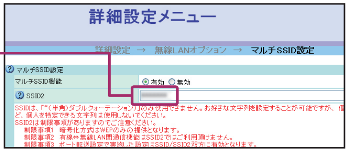
▼

3 「マルチSSID設定」画面が表示されます。「マルチSSID機能」欄で[有効]をクリックします。



▼

4 「SSID2」欄の初期値「User」を消して、新たに任意の文字を入力します。



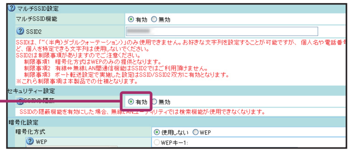
入力した情報はお忘れのないよう、本冊子巻末の「設定情報一覧表」に記入をお願いいたします。

忘れずにメモしておこう！
・SSID2

⚠ 無線 LAN を安全にご利用いただくため、必ず下記の点にご注意のうえ、設定をお願いいたします。
・お客様のお名前、ご住所、生年月日、年齢、性別、電話番号など、個人を特定できる情報は、絶対に設定しないでください。
・SSID は半角 32 文字、全角 16 文字以下で設定してください。

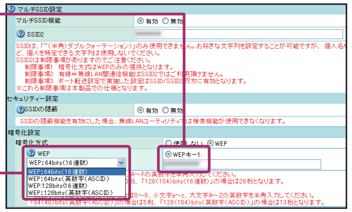
▼

5 次にセキュリティ設定を行います。SSIDの隠蔽（P28参照）を設定する場合は、[有効]をクリックします。



▼

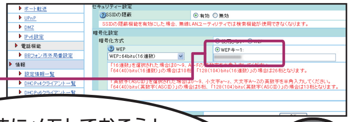
6 「暗号化方式」欄で[WEP]を選択した後、「WEP」欄の[▼]をクリックして、暗号化の種類を選択します。



ヒント
「16進数」や「英数字」など、4通りの設定方法よりご選択ください。

▼

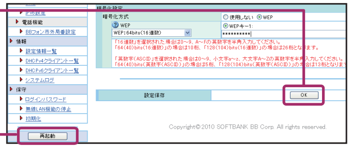
7 「WEPキー1」の入力欄に、6で選択した暗号化の種類に対応したWEPキーを、全て半角で設定します。
WEPキーの設定方法は、P24 5 に記載の**ヒント**をご参照ください。
入力した情報はお忘れのないよう、本冊子巻末の「登録情報一覧表」に記入をお願いいたします。



忘れずにメモしておこう！
・暗号化の種類
・WEPキー

▼

8 画面下の[OK]をクリックします。
「設定内容を登録しました。」と表示されたら、画面の案内に従って、左側に表示されたメニュー下の[再起動]をクリックします。



▼

9 再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、光BBユニットが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。

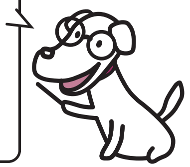
▼

10 「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上でマルチSSIDの設定は完了です

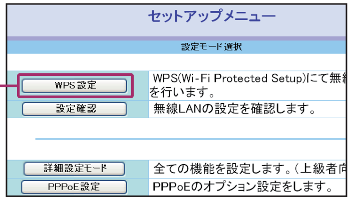
機能ボタンでWPS機能を利用する

WPSとはWi-Fi Protected Setupの略称で、無線LAN機器の接続と
セキュリティ設定を簡単に実行するための規格です。
光BBユニットでは、「プッシュボタン方式」と「PINコード方式」があります。
ここでは、「機能ボタン」を利用する手順をご説明します。
※機能ボタンは「プッシュボタン方式」のみご利用いただけます。



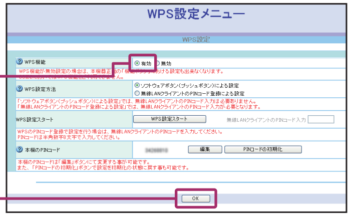
1

P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」
画面を表示し、[WPS設定]をクリックします。



2

表示された「WPS設定」画面の「WPS機能」欄で、
[有効]を選択します。
画面下の[OK]をクリックします。



3

「セットアップメニュー」画面に戻ります。
「セットアップメニュー」画面での設定は以上で終了です。

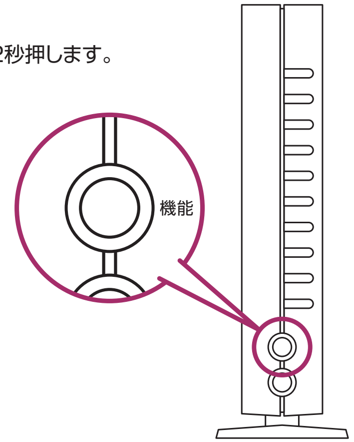
ヒント

WPS機能を[有効]に設定した後は、1〜2の作業は不要です。
以後、WPS機能をご利用の際は4からお手続きください。

4

光BBユニット前面パネルの[機能]ボタンを1〜2秒押します。

「機能」ボタンを5秒以上押すと、
無線LAN機能が停止となりますので
ご注意ください。
なお、さらにもう一度5秒間押し続け
ると停止を解除できます。



5

WPS機能の設定が完了すると、光BBユニット前面パネルの[無線LAN]ランプが橙色に変わります。
[無線LAN]ランプが点滅を始めたら、無線LANクライアントのWPS設定ボタンを押してください。
お手持ちの無線LANクライアントの取扱説明書などをご参照のうえ、WPS設定を行ってください。

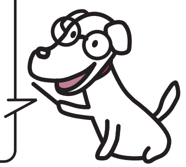
6

点滅を始めてから2〜3分後、光BBユニット前面パネルの[無線LAN]ランプが一度消灯し、緑色に変わります。

以上で機能ボタンでのWPS機能の設定は完了です

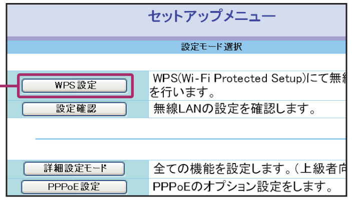
ソフトウェアボタン(プッシュボタン)で　WPS機能を利用する

WPSとはWi-Fi Protected Setupの略称で、無線LAN機器の接続とセキュリティ設定を簡単に実行するための規格です。光BBユニットでは、「プッシュボタン方式」と「PINコード方式」があります。
ここでは、「セットアップメニュー」画面の、ソフトウェアボタン(プッシュボタン)から利用する手順をご説明します。



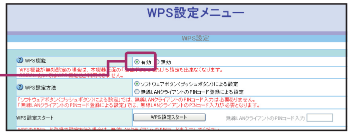
1

P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[WPS設定]をクリックします。



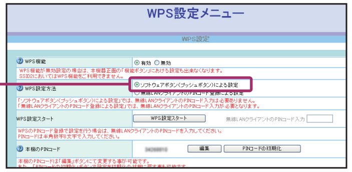
2

表示された「WPS設定」画面の「WPS機能」欄で、[有効]を選択します。



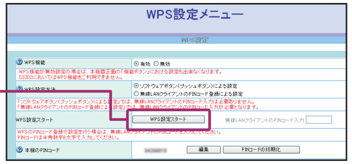
3

次に、[ソフトウェアボタン(プッシュボタン)による設定]を選択します。



4

「WPS設定スタート」欄の[WPS設定スタート]をクリックします。



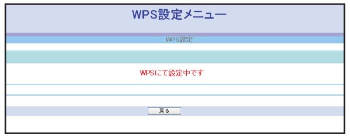
5

「無線LANクライアントのWPS設定ボタンを押してください。」と表示されたら、[OK]をクリックします。
お手持ちの無線LANクライアントの取扱説明書などをご参照のうえ、設定を行ってください。

ヒント
[OK]ボタンをクリック後、光BBユニット前面パネルの[無線LAN]ランプが橙色に変わり、点滅を始めます。

6

「WPSにて設定中です。」と表示されますので、そのままでしばらくお待ちください。

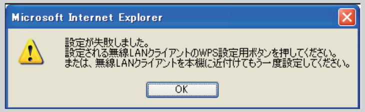


7

数分後、「設定を完了しました。」と表示されたら、[OK]をクリックします。

ヒント
光BBユニット前面パネルの[無線LAN]ランプが一度消灯し、緑色に変わります。

右のようなメッセージが表示された場合は、[OK] ボタンをクリック後、画面の案内に従って再度無線 LAN クライアント側の設定を行ってください。



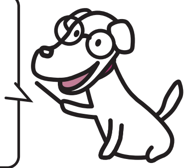
8

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

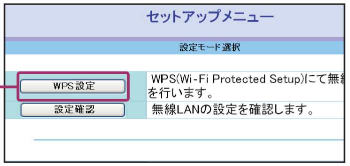
以上でソフトウェアボタン(プッシュボタン)でのWPS機能の設定は完了です

PINコード登録でWPS機能を利用する

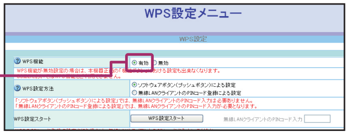
WPSとはWi-Fi Protected Setupの略称で、無線LAN機器の接続とセキュリティ設定を簡単に実行するための規格です。光BBユニットでは、「プッシュボタン方式」と「PINコード方式」があります。
ここでは、「セットアップメニュー」画面の、無線LANクライアントのPINコードから利用する手順をご説明します。



1 P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[WPS設定]をクリックします。

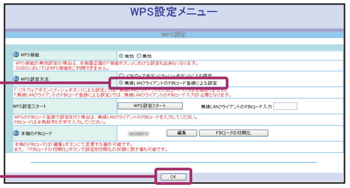


2 表示された「WPS設定」画面の「WPS機能」欄で、[有効]を選択します。



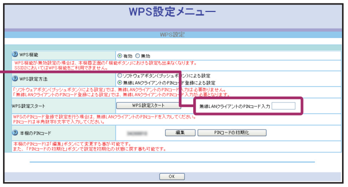
3 次に、[無線LANクライアントのPINコード登録による設定]を選択します。

設定を登録するため、画面下の[OK]をクリックします。「セットアップメニュー」画面に戻った後、再び[WPS設定]をクリックします。

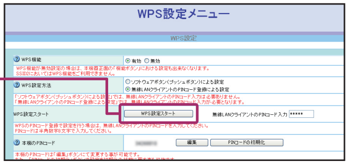


4 「WPS設定スタート」欄の、[無線LANクライアントのPINコードを入力]に、無線LANクライアント側のPINコードを入力します。

無線 LAN クライアント側の PIN コードは、お手持ちの無線 LAN クライアントの取扱説明書などをご参照ください。



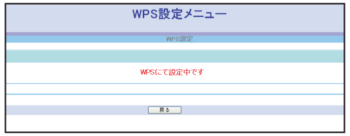
5 「WPS設定スタート」欄の[WPS設定スタート]ボタンをクリックします。



6 「無線LANクライアントのWPS設定ボタンを押してください。」と表示されたら、[OK]をクリックします。お手持ちの無線LANクライアントの取扱説明書などをご参照のうえ、設定を行ってください。

ヒント
[OK]ボタンをクリック後、光BBユニット前面パネルの[無線LAN]ランプが橙色に変わり、点滅を始めます。

7 「WPSにて設定中です。」と表示されますので、そのままでしばらくお待ちください。



8 数分後、「設定を完了しました。」と表示されたら、[OK]をクリックします。

ヒント
光BBユニット前面パネルの[無線LAN]ランプが一度消灯し、緑色に変わります。

右のようなメッセージが表示された場合は、[OK] ボタンをクリック後、画面の案内に従って再度無線 LAN クライアント側の設定を行ってください。

9 「セットアップメニュー」画面に戻ります。

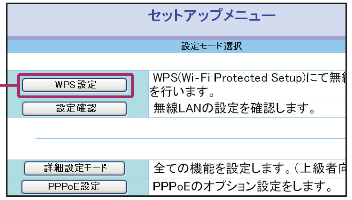
以上でPINコード登録でのWPS機能の設定は完了です

WPS機能を無効にする

初期設定ではWPS機能が有効になっています。
この機能を無効にされたい場合は、下記手順で設定してください。

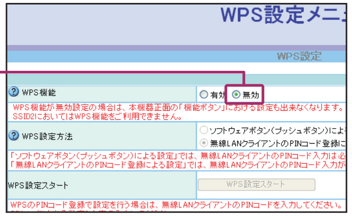
1

P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[WPS設定]をクリックします。



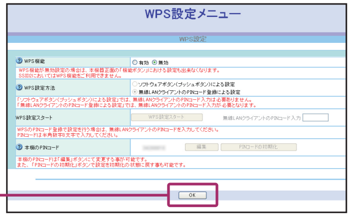
2

表示された「WPS設定」画面の「WPS機能」欄で、[無効]を選択します。



3

画面下の[OK]をクリックします。



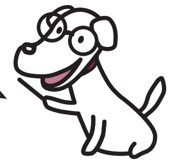
4

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上でWPS機能の無効は完了です

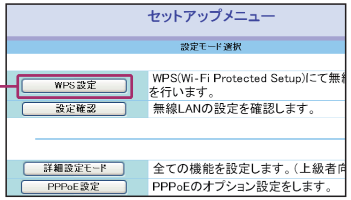
WPS機能のPINコードを編集する

光BBユニットで割り当てられているPINコードを、お客様固有の数字に変更することが可能です。



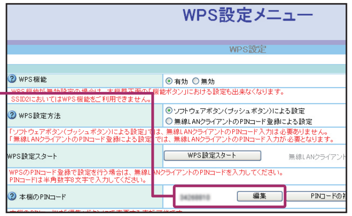
1

P15をご参照のうえ、「セットアップメニュー」画面を表示し、[WPS設定]をクリックします。



2

表示された「WPS設定」画面の「本機のPINコード」欄で、現在設定されているPINコードが確認できます。
[編集]をクリックします。

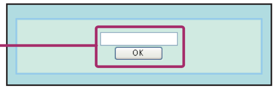


ヒント

[PINコードの初期化]をクリックすると、PINコードの設定を初期値に戻すことができます。

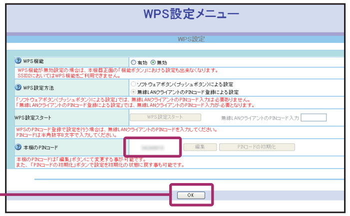
3

新たに設定されたいPINコードを、半角の数字8文字で入力し、[OK]をクリックします。



4

入力したPINコードが反映されていることを確認し、画面下の[OK]をクリックします。



5

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上でWPS機能のPINコード編集は完了です

トラブル解決Q&A

サービスをご利用中に何らかのトラブルが発生したら、まずその原因を調べる必要があります。ここではよくあるトラブルを具体的にリストアップして、それぞれ原因として考えられる事項をまとめています。該当する項目をご参照ください。

無線LANに関するQ&A

●1台の光BBユニットから無線LANで接続しているパソコンと、有線LANで接続しているパソコンの間では、通信できますか？ …… P44
●自宅で無線LANを使う場合、壁越しに通信できますか？ …… P44
●無線LANではどのようなセキュリティが設定できますか？ …… P44
●無線LANの通信距離はどれくらいですか？ …… P45
●利用可能なパソコン用無線LANアダプタの規格を教えてください。 …… P45
●電波が受信できて、SSIDやセキュリティの設定も確認したのに、インターネットに接続できません。 …… P45
●光BBユニットに設定したSSID、セキュリティ設定を忘れてしまいました。 …… P45
●新たに購入したパソコンで無線LANが利用できません。 …… P46
●複数台のパソコンで無線LANを利用するにはどうすればいいですか？ …… P46
●光BBユニットの「無線LAN」ランプが点灯せず、無線LANが利用できません。 …… P46
●無線LANで接続している複数のWindowsパソコンどうしで、ファイルやフォルダの共有はできますか？ …… P47
●ニンテンドーDS、ニンテンドーDS Liteで無線LANが利用できません。 …… P48

その他のQ&A

●光BBユニットの「セットアップメニュー」画面に入れません。 …… P49

無線LANに関するQ&A

Q 1台の光BBユニットから無線LANで接続しているパソコンと、有線LANで接続しているパソコンの間では、通信できますか？

A SSID1では通信できます。また、逆に通信できないように設定することも可能です。
詳しくは「有線LANと無線LANの通信を制限する」(→P31)をご覧ください。

※SSID2ではご利用いただけません。

Q 自宅で無線LANを使う場合、壁越しに通信できますか？

A 基本的には可能ですが、壁の材質によっては通信できない場合もあります。特に金属やコンクリート、大理石など、電波を通しにくい素材越しの通信は、不安定になる場合があります。

Q 無線LANではどのようなセキュリティが設定できますか？

A 光BBユニットでは、複数のセキュリティ設定が可能です。SSIDの隠蔽やMACアドレスフィルタリング、AESなどでアクセス制限をかけたり、盗聴を防止するためにデータを暗号化したりする設定が可能です。またパソコン間の通信（ファイルの共有など）をできないように設定することも可能です。

※MACアドレスフィルタリング
　無線LANアダプタは1台ごとに「MACアドレス」と呼ばれる固有の番号が割り当てられています。
　アクセスを許可するアダプタのMACアドレスを登録すると、登録されていないコンピュータのアクセスを拒否できます(→P29)。
※SSIDの隠蔽
　SSIDを周囲に発信する機能を停止します。パソコン側の検索機能などで無線LANのアクセスポイントを検出できないようにし、不正アクセスを防ぐことができます(→P28)。

トラブル解決Q&A

無線LANの通信距離はどれくらいですか？

無線LANの電波は、屋内で約25～50m（障害物のない場合の最大）まで届きますが、ご家庭では光BBユニットの置かれている場所やお使いのパソコン、およびその間の障壁となりうる壁などの材質により電波状態が悪くなる場合があります。特に金属やコンクリート、大理石など電波を通しにくい素材に囲まれた場所では、近距離でも電波が届かない場合があります。また電子レンジが動作しているとき、その周りでは電波が妨害される可能性があります。正常に通信が行えない場合は、光BBユニットとパソコンの距離を近づけ、通信が正常に行えるかどうかご確認ください。

利用可能なパソコン用無線LANアダプタの規格を教えてください。

IEEE802.11b規格、IEEE802.11b/g規格、IEEE802.11b/g/n規格に準拠したパソコン用無線LANアダプタが利用できます（→P6）。

電波が受信できて、SSIDやセキュリティの設定も確認したのに、インターネットに接続できません。

パソコン側のIPアドレスが固定されていて、DHCPサーバーを参照する設定となっていないためにインターネットに接続できない場合があります。パソコンのインターネットプロトコル（TCP/IP）の設定を確認し、IPアドレスとDNSサーバーのアドレスが「自動取得」に設定されているかどうか確認してください。確認方法は各パソコンメーカーにお問い合わせください。なお、初期設定の状態であれば、「自動取得」に設定されています。

光BBユニットに設定したSSID、セキュリティ設定を忘れてしまいました。

光BBユニットに設定されているSSID、PSK（暗号化方式はAES）は、「セットアップメニュー」よりご確認ください（→P16）。
なお、初期設定値は光BBユニット側面に記載されています。

新たに購入したパソコンで無線LANが利用できません。

新たに購入したパソコンで無線LANを利用する場合、そのパソコンに対してあらためて無線セキュリティ設定を行う必要があります。光BBユニットに設定したSSID、暗号化の種類をご確認のうえ、パソコンへ設定を行ってください。

※セキュリティ設定を行っている光BBユニットに対しては、あらためて設定いただく必要はありません。
※パソコンへのセキュリティ設定方法の詳細、およびパソコン用無線LANアダプタの設定方法につきましては、付属の取扱説明書などをご確認いただくか、各メーカーへお問い合わせください。

複数台のパソコンで無線LANを利用するにはどうすればいいですか？

複数台のパソコンで無線LANを利用する場合、無線LANで接続するすべてのパソコンに対してセキュリティ設定を行う必要があります。光BBユニットに設定したSSID、暗号化の種類をご確認のうえ、各パソコンへ設定を行ってください。

※セキュリティ設定を行っている光BBユニットに対しては、あらためて設定いただく必要はありません。
※パソコンへのセキュリティ設定方法の詳細、およびパソコン用無線LANアダプタの設定方法につきましては、付属の取扱説明書などをご確認いただくか、各メーカーへお問い合わせください。

光BBユニットの「無線LAN」ランプが点灯せず、無線LANが利用できません。

無線LANをご利用いただくには、無線LANパックへのお申し込みが必要です。無線LANパックにお申し込みいただいていない場合、[無線LAN]ランプは点灯しません。
無線LANパックにお申し込みのお客様がLANケーブルを接続した状態（有線LAN）ではインターネットにアクセスできるのに、光BBユニットの[無線LAN]ランプが点灯せず、無線LANがご利用いただけない場合は、無線LAN機能の「無効」を選択していないかどうかをご確認ください（→P32）。無線LAN機能が「有効」になっているにも関わらず無線LANがご利用いただけない場合は、いったん光BBユニットの電源を切った後、数分待ってから電源を入れ直し、[無線LAN]ランプが点灯するかどうかご確認ください。
それでも[無線LAN]ランプが点灯しない場合は、お手数ですが光BBユニットに同梱されているお問い合わせ先をご覧のうえ、お電話またはメールにてご連絡ください。

トラブル解決Q&A

Q 無線LANで接続している複数のWindowsパソコンどうしで、ファイルやフォルダの共有はできますか?

A 無線LANに接続しているパソコン間のファイルやフォルダの共有は可能です*。ここでは、簡単に設定の流れだけをご紹介します。具体的な操作手順についてはお使いのパソコンの取扱説明書やヘルプ機能などをご参照ください。

＊SSID1のみ可能です。SSID2ではご利用いただけません。

■ファイル、フォルダを置いている側のパソコン

① お使いのパソコンに「Microsoftネットワーク用クライアント」と「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」(または「Microsoftネットワーク共有サービス」)がインストールされていることを確認します。

※確認方法については、右ページの「「Microsoftネットワーク用クライアント」・「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」(または「Microsoftネットワーク共有サービス」)の確認方法」をご覧ください。

② ファイルやフォルダを共有するようネットワーク設定を変更します。

③ 共有したいフォルダを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」を選択して「共有する」をチェックします。ファイルを共有したい場合には、共有したフォルダの中に置きます。直接には共有の設定はできません。

■参照する側のパソコン

① お使いのパソコンに「Microsoftネットワーク用クライアント」と「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」(または「Microsoftネットワーク共有サービス」)がインストールされていることを確認します。

※確認方法については、右ページの「「Microsoftネットワーク用クライアント」・「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」(または「Microsoftネットワーク共有サービス」)の確認方法」をご覧ください。

② ファイルやフォルダを共有するようネットワーク設定を変更します。

③ エクスプローラやデスクトップの「マイネットワーク」または「ネットワークコンピュータ」アイコンから「ネットワーク全体」を経由して、共有されているフォルダやその中にあるファイルを参照します。

「Microsoftネットワーク用クライアント」・「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」(または「Microsoftネットワーク共有サービス」)の確認方法

Windowsの種類によって、確認の手順が異なります。

【Windows Vistaの場合】
「コントロールパネル」→「ファイルの共有の設定」→「ネットワーク接続の管理」
→(共有したいネットワークの)「接続」をクリック

【Windows XPの場合】
「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」
→「ネットワーク接続の管理」→(共有したいネットワークの)「接続」を右クリック
→「プロパティ」

【Windows 2000の場合】
「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」

【Windows 98/Meの場合】
「コントロールパネル」→「ネットワーク」

それぞれの手順で、「Microsoftネットワーク共有サービス」と「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」がインストールされていることを確認してください。

※①のサービスをインストールする必要がある場合、お使いの機種によってはWindowsのインストール用CD-ROMが必要になることがあります。
※お使いのパソコンの機種・環境によっては、①、②の操作が不要な場合もあります。
※Windowsのバージョンによって、具体的な操作手順やサービス名称が異なります。
※詳細設定の「無線LAN端末どうしの通信を制限する」(→P27)で[禁止]を設定している場合には、ファイルやフォルダの共有はできません。

Q ニンテンドーDS、ニンテンドーDS Liteで無線LANが利用できません。

A ニンテンドーDSおよびニンテンドーDS Liteが対応している暗号化方式はWEPのみとなります。
光BBユニットの初期設定はAESに対応しているため、設定を変更する必要があります。
マルチSSIDの設定を行ってください。(→P33)

その他のQ＆A

Q 光BBユニットの「セットアップメニュー」画面に入れません。

A 光BBユニットの「セットアップメニュー」画面にログインできない場合は、
次の点をご確認ください。

① LANケーブルを接続せず、無線LANで「セットアップメニュー」画面に入るためには、無線LANのセキュリティ設定がPSK（暗号化方式はAES）である必要があります。LANケーブルを接続せず、無線LANの状態で「セットアップメニュー」画面に入れない場合は、まずLANケーブルで接続後、「セットアップメニュー」画面にて、無線LANの暗号化方式がAESになっていることをご確認ください（→P16）。
※ 初期設定時はAESの暗号化となっております。

② パソコンに接続した無線LANアダプタを取り外した状態で「セットアップメニュー」画面にログインできるかどうか確認してください。無線LANアダプタ内蔵タイプのパソコンをご利用の場合は、パソコンの無線LAN機能を「無効」にした状態でご確認ください。

③ 市販のウイルス対策ソフトウェア、ファイヤウォール機能を持つソフトウェアがインストールされている場合は、ファイヤウォールの機能を解除してください。解除方法はそれぞれのソフトウェアのマニュアルを参照いただくか、各メーカーにお問い合わせください。

④ Internet Explorerのセキュリティ設定を確認してください。
Internet Explorerを起動し、「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択し、「インターネットオプション」画面を開きます。
まず、「セキュリティ」タブを選択して、「このゾーンのセキュリティのレベル」欄の[既定のレベル]をクリックし、セキュリティレベルを既定値に戻します。
続いて、「接続」タブを選択して、「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」欄の[LANの設定]をクリックし、「プロキシサーバー」欄の「LANにプロキシサーバーを使用する（これらの設定はダイヤルアップまたはVPN接続には適用されません）」の□のチェックを外します。
[OK]をクリックして「インターネットのプロパティ」画面を閉じてください。

⑤ 光BBユニットとパソコンの間にルータやHUB（ハブ）を接続している場合は、いったんそれを取り外し、光BBユニットとパソコンを直接つないでください。

⑥ 「セットアップメニュー」画面のアドレスを間違えていないか、確認してください。
「セットアップメニュー」画面にログインするには、Internet Explorerの「アドレス」欄に「http://172.16.255.254/」または「http://192.168.3.1/」*のいずれかを、半角英数文字で入力します。
＊光BBユニットのIPアドレスの初期値です。お客様で変更された場合、値が変わります。光BBユニットのIPアドレスは詳細設定一覧（→P16）でご確認いただけます。

⑦ WEBブラウザは、Internet Explorer 6.0以上を使用しているか確認してください。

①〜⑦を確認し、それでも「セットアップメニュー」画面にログインできない場合は、お手数ですが、
ご利用中のインターネットサービスプロバイダーまでご連絡ください。